

公益社団法人日本技術士会 CPD行事 報告書

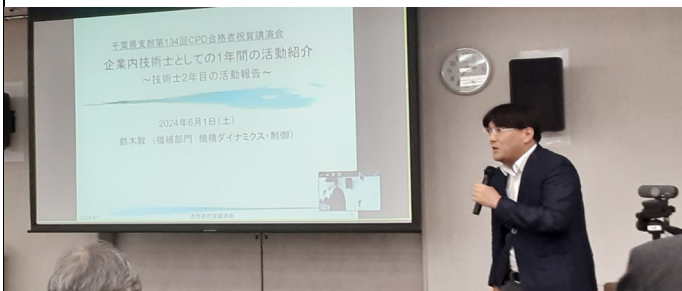
開始日時	2024年6月1日(土)	14時00分
終了日時	2024年6月1日(土)	16時30分
名称	第134回CPD合格者祝賀講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会千葉県支部	
開催場所	千葉商工会議所 14 階第一ホール及び ZOOM によるリモート講演	
行事内容	1. 開会挨拶：小林政徳 氏（本部総務委員会委員長） 2. 講演 2-1)「千葉県支部の活動概要」：熊田成人支部長（経営工学部門） 2-2)「企業内技術士としての1年間の活動紹介」：鈴木敦氏（機械部門）： 2-3)「企業内技術士として」：長江進氏（建設部門 総合技術監理） 2-4)「技術士としての活動事例紹介」：竹田雅美氏（化学部門） 3.「新会員及び修習技術者の紹介」(会場およびZoom)：	
参加人数	48名(会場27名+Zoom21名 講師1名含む)	

2-1)「千葉県支部の活動概要」：熊田成人支部長（経営工学部門）



- ・技術士に求められる資質能力とは？
- ・千葉県支部の組織について（千葉県支部の所属会員となるには、月刊技術士の送付先を千葉県内の自宅/勤務先に指定する⇒千葉県支部限定の同報メールなど、各種情報を入手できる）
- ・千葉県支部の各委員会の活動について紹介

2-2)「企業内技術士としての1年間の活動紹介」：鈴木敦氏（機械部門）：



- ・所属企業での業務内容：鉄鋼プラントにおける熱間圧延ラインのプロセス制御の研究開発を担当。
- ・技術士（機械部門）資格取得までの流れ
社会人ドクターとして母校で博士（工学）を取得、コロナ禍にて暇を持て余し、技術士取得を決意。
- ・千葉県支部での活動の紹介
- ・一年間の継続研鑽の振り返り

2-3)「企業内技術士として」：長江進氏（建設部門 総合技術監理）



- ・自己紹介：企業の中で、技術士総合技術監理部門及び建設部門の専門知識を生かし、高速道路工事におけるアドバイス業務を行っている。
- ・公共工事（社会インフラ）における企業内技術士の優位性について
- ・建設部門の技術士が果たすべき役割
- ・社会環境の変化に対応する技術士をめざして

2-4)「技術士としての活動事例紹介」：竹田雅美氏（化学部門）



- ・ 技術士の資格取得に挑戦したのは、会社退職後の人生を構築するため。
- ・ 技術士としての活動は、千葉県支部の企画委員会、企業支援委員会、技術相談小委員会、広報委員会を主とした。
- ・ 技術相談小委員会では、委員長として技術相談の対応業務を行ったが、コロナ禍、企業の活動の自粛、技術相談員の高齢化による活動の自粛により、技術相談件数が低下した。今後は、組織の若返りを図ると共に、攻めの活動（こちらから技術相談を企業に呼び掛けるなど）を実施する。

3.「新会員紹介」（会場および Zoom）：

会場での新会員及び修習技術者が紹介され、それぞれ自己紹介が行われた（写真）。Zoom からも修習技術士の紹介 1 名が行われた。



4.その他

講演会終了後、参加希望者 25 名による交流会（「シルクロード」にて）が実施され、会員の親睦が深められた。

以上